

## 銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



## 10月の銅の概況及び11月の見通し (3)

## 伸銅品生産

9月伸銅品生産量速報値は5万3,400トン、前年同月比0.1%増加した。

9月の伸銅品の生産量は、14品目中10品目が前年同月実績を上回った。

自動車の需要が支えている。中国など海外を中心にEV生産が減り、国内あでも一部のメーカの減産の影響があるが、EVに代わりハイブリッド車の生産が増えていることから、これが伸銅品の需要のプラス要因となっている。エアコンは、秋になっても暑い日が続く、まだ需要が残っているが、在庫消化が続いており、伸銅品の需要に直結して来ない。

## 銅 条

同比2か月ぶりプラス。自動車端子コネクタ向けは順調である。これまで足を引っ張っていた民生用リードフレーム向け需要も、在庫消化が進み今後回復の期待が高まっている。またデータセンターやサーバー向けの需要も良い。それ以外の産業用の半導体向けは回復が遅れている。

## 黄銅棒

同比2か月連続マイナス。コロナ禍の頃の生産量も下回る。新規住宅着工件数が伸びない。リフォーム関係は引き続き非接触の水栓と温水便座向けの需要が伸びている。しかし、バルブ関係の需要が回復して来ない。また自動車向けは、引き

続きデータ不正問題の影響を受けている。

## 電 線

前年比 +2.7% の54200 t。うち、国内は-0.5%、輸出が+154.8%。

## 輸 出

電気銅 +6.9%の6万2287 t

スクラップ -39.6%の2万510 t

## 輸 入

電気銅 -37.1%の295 t

スクラップ +42.3%の1万3484 t

## ■見通し

## 自動車

9月の自動車生産が-10.1%。10月国内販売台数が前年比+6.6%

販売が再び増加。生産は3か月ぶり減少。ここ数か月増加減少を繰り返しておりコロナ挽回生産の目はなくこの水準で落ち着く。

## 電 線

前年比 +2.7% の54200 t。うち、国内は-0.5%、輸出が+154.8%。4か月連続減少 今後に注視。

## ■スクラップ景況予想

銅建値が145万から149万へ上昇。前月在庫分は伸銅品生産減。発生減から在庫薄。長期在庫分は相場の上昇により売らず買えずの膠着状態。

## ■LME・為替予想

今月は以下の項目に左右される

## ●中国の景気動向

中国全人代での大規模景気刺激策期待、S & P 5日発表した10月の中国サービス部門購買担当者景気指数(PMI)は52.0と、前月の50.3から上昇し、3か月ぶりの高水準となったことから中国経済を支える可能性が高いのではないか。

## ●米大統領選

いわゆるトランプトレードは盛んになり流動資金が金属から抜け下落する可能性が高いのではないか、ただその後は景気回復期待から相場は戻ると予測。

これらを踏まえた今月の銅価格は 9000-10000ドル(セツル)との予想。

ドル円値は145円~155円(TTM)台を予測。

銅建値に関しては135万-159万円程度と予測。

(おわり)

## 鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造  
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314

電話 0774-43-6700(代表)